

●基本情報 (○基本情報に関する項目①) に関する項目

○基本情報に関する項目		作成日 平成 26 年 6 月 13 日
受付年月	平成 26 年 6 月 10 日	
受付担当者	居宅介護支援事業所 介護支援専門員	
受付経路	地域包括支援センターからの紹介	
氏名・性別・年齢・住所・電話	A 子さん・女性・82 歳 A 市 B 町 00、000 - 000 - 0000	
家族状況	<p>長女と、長女の夫と 3 人暮らし、本人の夫が 4 年前に亡くなった後、だんだんと認知症が進行して、一人暮らしができなくなって、3 年前に長女が引き取った。</p> <p>長女：57 歳。健康状態は良好。週 4 回パートに行っているが、家事と介護を一人で担っている。</p> <p>長女の夫：58 歳。健康状態は良好。会社員で出張が多くほとんど介護には関われない。</p> <p>長女の娘：30 歳。健康状態良好。結婚して隣市に住んでいるが子育て中なので、頻回には来れないが、月に 1 回は手伝いに来ている。母親と仲が良くなんでも相談に乗っている。</p> <p>長男：昨年がんで亡くなり、本人は大変ショックを受けた。</p>	
経済状況	<p>経済的には、年金があるので生活には困らない。長女は介護費用では自費が出ても構わないと思っている。</p>	
生活状況	<p>平成 21 年春頃にたまたま夫と買い物に行った時、お金の計算ができず、出すお札がわからなかったので、おかしいなと感じたことがあった。それ以降はおかしなことはなかったのを忘れていた。それから 1 年くらいたったころ、いつも同じ食材だけを買うようになり、冷蔵庫の中に古くて食べられないものがたくさん入っていた。その頃は夫が見守りをしながら、一緒に調理をしていたらしい。</p> <p>平成 22 年 5 月、夫が心臓病で突然亡くなり、大変ショックを受けた。一人暮らしになった当初は、長男が毎晩泊りにきてくれたので、安心していただろう。3 か月が過ぎ、事務的な処理も終わり落ち着いたようだと長男が来なくなったが、まだ一人暮らしはできていた。週に 1~2 回は、長女が訪問していた。</p> <p>平成 23 年になって、鍋を焦がしたりすることがあり、長女がパートの帰りに毎日のように訪問して家事を手伝った。しかし、長女が疲れて血圧が高くなったために、このように通って一人暮らしを手伝うのは無理と考えて、長女が引き取ることにした。</p> <p>平成 23 年 12 月、長女宅のリフォームが終わったので、引き取った。本人は長女と一緒に暮らせると喜んだが、長女の夫には少し遠慮していたらしい。長女がパートに行っている間は、近くに知り合いがいないので一人でテレビを見て過ごしていた。</p> <p>平成 25 年 2 月、長男のがんの末期であることが判明、ショックを受けた。長男は 6 月に亡くなり、葬儀の前後から悲嘆に暮れて夜眠れなくなったり、食欲も低下した。この頃から、財布を探したり物探しが増え、お風呂も嫌がるようになった。長女は暑くなってきて汗臭くなるので何とか入浴してもらいたかったが、拒否されることが多かった。</p> <p>長女は、最近足が弱ってきて、トイレに間に合わなくて失禁することがたまにあるので、どうしてもお風呂だけは入ってもらいたいと思っている。</p>	

●基本情報 (◎基本情報に関する項目—②) に関する項目

生活歴	0年0県生まれ。5人兄弟の長女で、父親は学校の教師だった。21歳の時にお見合いで3つ年上の学校の教師と結婚し、1男1女をもうけた。専業主婦で、子育て中は何もしていなかったが、子どもたちが結婚してからは、木目込み人形を習いに行つて、作品を友人にあげることを楽しみにしていた。
保険・他法情報	介護保険：要介護2
現在利用しているサービスの状況	なし。
障害高齢者の日常生活自立度	J2
認知症である高齢者の日常生活自立度	II b
主訴	本人は「なんでも自分でできます。大丈夫ですよ」と話している。 長女は「認知症とわかってはまだまだできることが多いので、自宅で介護したいと思っていましたが、最近どんどん認知症が進んできて、入浴拒否が多くなり困っています。また、たまに間に合わずに失禁するので、これからもこのような状態が続くと在宅介護ができるか心配です。何かよい方法があるか相談したい」と話している。
認定情報	要介護2 (平成26年5月7日～平成27年5月31日)
課題分析 (アセスメント) 理由	初回アセスメント
本人の望む暮らし	本人は、まだなんでも自分でできると思っている。娘と一緒に暮らしたい。

●基本情報 (◎アセスメントに関する項目①) に関する項目

◎アセスメントに関する項目		
課題分析 標準項目	現在の状況(できること・できないこと)	本人・家族の 思い・意向
健康状態	<p>病名：アルツハイマー型認知症</p> <p>平成 21 年頃よりお金の計算ができなくなったり、同じものを買うようになったが、夫が見守りながら生活できていた。</p> <p>平成 22 年 5 月夫が突然死亡してからも一人暮らしを継続していた。</p> <p>平成 23 年鍋こがしをすることがあったので、長女が通っていたが、通うのは無理と考え長女宅に引き取った。</p> <p>アリセプト(朝 5 mg、長女が管理)</p> <p>主治医の紹介により、認知症専門医の受診があり。</p>	<p>本人：元気です。</p> <p>長女：これから、どのように進行していくのか心配です。</p>
ADL	<ul style="list-style-type: none"> ・寝返り：自立 ・起き上がり：自立 ・移乗：自立 ・歩行：自立、最近足が弱ってきた。 ・着衣：見守り、脱ぐことは自立だが、時々着る順番を間違えることがある。 ・入浴：自立、最近入浴拒否が増えた。 ・洗身：一人で入っているのでもきちんと洗えていないかもしれない。 ・食事：自立、一人の時に昼食を食べていないことが多い。 ・洗面：一人では行わないので、声掛けしてやってもらう。 	<p>本人：なんでも自分でできます。長女は働いているので食事作りぐらいはやってあげたいと思います。お風呂も汗かいたら自分で入ります。</p> <p>長女：入浴拒否などどういふふうに対応したらよいかわからなくて困っています。また、家でテレビばかり見ているのも心配です。</p>
IADL	<ul style="list-style-type: none"> ・調理：最近長女が全てやっている。 ・掃除：長女が行っている。 ・洗濯：長女が行っている。 ・買物：休みの日など長女夫婦と一緒に、近くのスーパーに買い物に行くが、あまり欲しいものはないという。 ・金銭管理：長女が行っている。 ・服薬状況：管理ができないので、長女が管理して、手渡すと自分で飲む。 	<p>本人：なんでも自分でできます。</p> <p>長女：同居したときから家事はしなくなりました。</p>
認知	<p>アルツハイマー型認知症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記憶：短期記憶は低下している。昔の話は楽しそうに話す。 ・見当識：日時、場所の見当識は低下している。家族の顔はわかる。 ・理解・判断力：全体的に低下している。 	<p>本人：…</p> <p>長女：これからどうなっていくのかちょっと不安です。</p>
コミュニケーション能力	<p>簡単な内容は理解して返答できるが、複雑な内容の時は話を合わせて、取り繕いの会話になっている。</p>	<p>本人：おしゃべりは好きですね。</p> <p>長女：私とはよくしゃべりません。</p>
社会との関わり	<p>近隣との交流：長女の家に取り取られたので、近くに知り合いはいないし、なじみの商店もない。</p>	<p>本人：ここには知り合いがない。</p>

●基本情報 〈◎アセスメントに関する項目—②〉に関する項目

排尿・排便	<ul style="list-style-type: none"> ・排尿：自宅のトイレは一人で行っているが、たまにトイレまで間に合わないことがあったのでリハビリパンツを着用してもらおうが、嫌がってはかない時がある。 ・排便：洋式トイレで行っている。 	<p>本人：…</p> <p>長女：足が弱って間に合わないことがあるので、リハビリパンツを使って欲しい。時々尿臭があるので、夫もいるので何とかしたい。</p>
じょく瘡・皮膚の問題	なし	
口腔衛生	歯磨きは自分でしている。入れ歯はない。最近は促さないとしなくなってきた。	<p>本人：毎日していますよ。</p> <p>長女：声をかけないと自分からはしなくなりました。</p>
食事摂取	自立している。	
行動障害	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠障害：昼間、家族が出かけた後寝ているようで、夜になってもなかなか寝ない。ベッドに入っても何度も起きだしたりしている。 ・入浴拒否：入浴を誘っても拒否する。何とか入ってもらっても、洗髪を嫌がる。「外に出かけていないので、汚れていない」と言い張る。 	<p>本人：外に出かけていないので、汚れていません。</p> <p>長女：夏は汗臭くなるので困ります。</p>
介護力	<p>主介護者は長女である。高血圧の薬を服用している。パートに週4日行き、家事全般を担っている。母親の認知症が進んでいることに戸惑っている。</p> <p>長女の夫は、会社員で出張が多くほとんど家にいないので、介護の手伝いはできない。ただ、引き取ることに反対はしないし、理解を示してくれている。</p>	<p>長女：今までどおりだったら介護できるけど、これからいろいろなことが起きたらどうしようか心配です。</p>
居住環境	住宅地の一戸建て。本人の居室は1階の1室をリフォームしてバリアフリーにしてある。日中は1階の畳の間リビングにいてテレビを見ているが、うつらうつらしていることが多いようだ。	
特別な状況	特になし	

*複数の提案を行い、本人・家族の同意を得たものが、居宅（施設）サービス計画書（2）に挙がってきます。